

アフリカ州の自然と歴史

1 / 1

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 **アフリカ州** 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

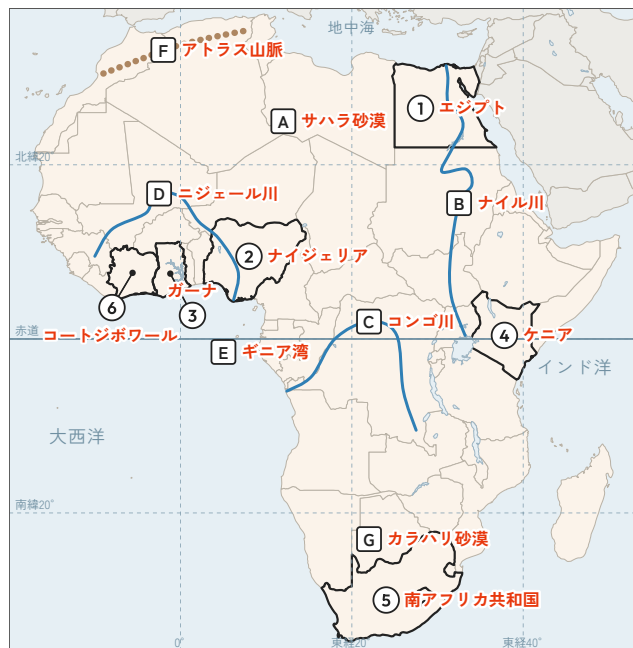
今日の問い

アフリカ州は、どんな自然の中で、どんな歴史をたどってきたのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

地図で見るアフリカ州

赤い字は赤シートで消えます



1 アフリカ州の自然と歴史

自然と歴史

サバナ

雨季と乾季があり、たけの長い草と低い木がまばらに生える草原。

さばくか 砂漠化

雨が少なくなったり、木の切りすぎなどで、土地が砂漠のようになること。

しょくみんち 植民地

ほかの国に支配された地域。

アフリカ州は、ほぼ中央を赤道が通る大陸である。北部には世界最大のサハラ砂漠が広がり、その東を世界最長のナイル川が北へ流れ、下流のエジプトで古代文明が栄えた。西部にはギニア湾に注ぐニジェール川、赤道付近にはコンゴ川が流れ、北西部にアトラス山脈がある。

気候帯は、赤道をはさんで南北に同じように並ぶ。赤道付近には熱帯雨林、その外側にはケニアなどに見られる草原のサバナが広がり、さらに外側は乾燥して、北にサハラ砂漠、南にカラハリ砂漠がある。サハラ砂漠の南のふちのサヘルでは、砂漠化が進んでいる。

16世紀ごろから、多くの人々が奴隷として南北アメリカ大陸へ連れていかれた。20世紀のはじめには、ほとんどの地域がヨーロッパの国々の植民地となり、緯線や経線を使った直線の国境が今も残る。1960年には17か国が独立し、「アフリカの年」とよばれた。今もナイジェリア・ガーナ・南アフリカ共和国などは英語、コートジボワールなどはフランス語が公用語である。

問いへの答え

アフリカ州は、赤道をはさんで南北に熱帯雨林・サバナ・砂漠が並び、サヘルでは砂漠化が進んでいる。16世紀ごろから多くの人々が奴隷として連れ去られ、のちにほとんどの地域がヨーロッパの植民地となった。1960年ごろに多くの国が独立したが、直線の国境や英語・フランス語の公用語が今も残る。

次はノートで、下線に語句を書きながら確かめよう →

